

1. 会議名	令和7年度 第2回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議
2. 開催日時	令和7年(2025) 11月7日(金) 10:00～11:45
3. 開催場所	出雲科学館 理科学習棟 多目的室
4. 出席者	<p>《委員》</p> <p>【出席】</p> <p>松本新吾会長、山岡 忍副会長、大場 利信委員、金築 千晴委員、加本 るい委員、北脇 正巳委員、坂根 俊委員、須田 のり子委員、角 健二委員、壺倉 浩平委員、中島 亮委員、兵井 早苗委員、福田 実委員、槇原 綾子委員、松浦 研二委員、三島 慎也委員</p> <p>【欠席】</p> <p>江角 尚子委員、陰山 篤也委員、小松 正嗣委員、原 久子委員</p> <p>《事務局》</p> <p>商工振興課長、商工振興課職員(5名)、産業政策課長、産業政策課職員(3名)</p>
5. 次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係る令和6年度の達成値について</p> <p>(2) 出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係る令和7年度事業・取組について</p> <p>(3) 令和8年度予算について</p> <p>3. その他事項</p> <p>4. 閉会</p>
6. 会議内容(概略) ※敬称略	
事務局	<p>ただいまから、令和7年度 第2回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議を開会する。</p> <p>7月30日をもって委員の任期が満了し、新しい任期が始まった。</p> <p>任期が新たになり、会長を松本委員、副会長を山岡委員にお願いする。</p> <p>【退任】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連合島根中部地域協議会 須山 賢也 ・有限会社アタゴ写真館 田中 由美子 ・プロジェクトマヤッカ 長瀬 理更 ・有限会社ワタエー 渡部 史郎 <p>【新任】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社島根人材育成 江角 尚子 ・ひらた在宅SOHO支援センター 金築 千晴 ・柿壺株式会社 小松 正嗣 <p>以上の皆様に新たに会議の委員を委嘱する。</p>

《議題１：第２期出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係る令和６年度の達成値について》

会 長 議題１、議題２を合わせて事務局に説明をお願いします。

事務局 〔資料１、２に基づいて説明〕

会 長 ただいまの説明を受けて、何か質問等があるか。

委 員 ナンバー５のＩＴ企業従事者数だが、なかなか人手が集まらないという話を伺う。海外からＩＴに優れた技術者を雇用することを市のほうでやっているが、現在何人か。

事務局 これは㈱People cloudという会社とやっている事業である。実績としては東欧から日本への移住者が１９名である。そのうち市内企業の従事者が１０名である。

委 員 市内の企業から、松江高専卒の生徒がいまいかと話を聞くが、そのあたりの情報を教えてほしい。

事務局 高専生でも進学をされる方が多数いる。また、県外からの求人も多く、実績としては県外への就職が多い状況である。今後市としても、高専に市内就職を働きかけたい。

委 員 ＩＴ企業の離職率は何％か。

事務局 ＩＴ企業に限った数字は持ち合わせていないが、島根県の全業種だと３年で３割程度の離職率である。

《議題２：出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係る令和７年度事業・取組について》

事務局 〔資料３、４に基づいて説明〕

会 長 ただいまの説明を受けて、何か質問等があるか。

委 員 ＴＳＫ農縁の前は県道で片側１車線の道路だが、将来的に１０万人が来るとなると大渋滞を引き起こす恐れがあると思うが、交通対策等は考えがあるか。

事務局 現時点では、道路改修の予定はしていない。

委 員 中小企業者等デジタル化促進支援事業補助金の受付期間の延長はないか。また、いずれも縁結びＰＡＹについて、さまざまなキャッシュレスがあるなかで、魅力がないと数が増えないと思う。いずれも縁結びＰＡＹを使ったふるさと納税はどういう仕組みか。

事務局 デジタル化支援補助金の延長は行わないので、ご了承いただきたい。いずれも縁結びＰＡＹについて、市としても若い方が入っていただいていないのが課題だと思っている。若い方の心に響くような取組みを行っていききたい。ふるさと納税は市外の方が対象で、納税額の３０％のポイントを付与するという仕組みである。ただ、使えるのは出雲市内のお店なので、旅行等で来られた際に使っていただくことになる。ふるさと納税のねらいは、観光誘客や移住に繋がればと思っている。

委 員 縁結びＰＡＹで暗証番号入力が必要ということだが、他のＰＡＹについても暗証番号入力が必要なのか。他の市町村は暗証番号の入力はどうしているか。

事務局 いずれも縁結びＰＡＹについては、セキュリティ問題が発生してはいけないので、強化して厳しくしている。必ず必要かと言われれば制度等も変わるので定かではないが、セキュリティ強化は必須だと思っている。決済の際ではない別の部分でセキュリティを担保しているところもある。他の自治体では、暗証番号を入力しなくても使えるところはある。

委 員 他の自治体では入力しなくてもいいところもあるが、そのあたりを検討いただきたい。

委 員	縁結びP A Yの使い方について、1 1桁の番号がコピーできなかったので、煩わしかった。若い世代の使える店が少ないと感じている。市役所の証明書発行について、いずれも縁結びP A Yが使えるか。
事務局	イオン、ゆめタウン、ホームセンター等はだいたい使えるようになっている。ただ、ゆめタウンやイオンなどの専門店だと使える店と使えない店があるので、若い方が行かれるところも目を向けて営業活動を行っていききたい。市の証明書の発行は現在使えないが、議論は行っているので、もう少しお待ちいただきたい。
委 員	商品券の第3弾は考えているか。
事務局	時期的なこともあり、第3弾は考えていない。
委 員	エネコス補助金、デジタル化補助金の進捗を教えてください。
事務局	デジタル化補助金だが、当初予算3,000万円で70件出たところで予算が無くなった。現在再募集をしているが、30件の申請があり、合わせて現在では100件の申請がある。続いてエネコス補助金だが、おおよそ6,000万円程度を見込んでいる。
《議題3：令和8年度予算について》	
事務局	事前に資料をお読みいただいているが、来年度の予算について要望、意見等があればお聞かせいただきたい。
会 長	意見、要望等があるか。
会 長	物価、エネルギーの高騰等や賃上げもあり、事業者の利益がでにくい。価格転嫁が必要だと考えている。小規模といえども商品をもっている方は小売価格を上げなければいけない。それである程度利益を確保しなければいけないが、ただ既存商品や既存サービスを値上げするのではなく、商品開発や商品改良等工夫をしながら、消費者に対して新しい価値を提供するので価格を上げるということをしなければいけないと思う。試作にかかるトライアルのためのコストが必要になってくる。そのような補助制度が足りないと感じている。
委 員	J R出雲市駅の券売機が混むような感じがしている。1時間程度待つこともあり、そのあたりを対応していただきたい。また、創業者支援の予算が400万円となっているが、出雲で創業したいと思う方は全国から来られると思うので、予算の増額や魅力ある施策をお願いしたいと思う。
事務局	創業支援についてだが、ミライビジネスいずもの創業塾や各種セミナーで創業支援はどちらかというとミライビジネスいずも中心でやっていて、商工振興課も一緒に取り組んでいる。資料に記載している創業支援の経費については、信用保証料を補助する経費が含まれている。また、店舗の改修にかかる経費については、地域商業等支援事業で含まれている。いろいろな意見を伺いながらこの創業支援が良いものになるようにしていきたい。
委 員	出雲市でのイクボスの取り組みは。
事務局	（市民活動支援課に）確認して後日回答させていただく。 （回答） 企業へのイクボスセミナーの開催、イクボス養成セミナーの開催、イクボス養成アドバイザーの派遣を行っている。

委 員	地域商業等支援事業における補助対象区域の問題について、大社エリアについては線的な指定になっているので再考してほしい。見直しについても現状等把握し、検討していただきたい。縁結びP A Yについて、ゆくゆくは自走を目指すなかで立ち上げの支援をされるなかで、現在の決済額 1.4 億円では自走は厳しいと思うので、そのあたりの長期的な視野も持っていただきながら、支援をやっていただきたい。
事務局	対象区域については、大社地域については、路線で指定されている。一步入ると対象ではない。大社地域の店舗が広がっているという状況もあるので、検討をしたい。縁結びP A Yについても自走を目指していきたいところだが、当然決済額が関連している。引き続き、利用者・加盟店拡大に努めて、自走できるように市として頑張りたい。
委 員	先ほど支援策を示されたが、県のほうもさまざまな支援を行っているので、情報共有しながら対応させていただければと思う。
委 員	事業承継の支援について、家族内承継支援のみか。第三者の支援はされていないのか。創業支援について、事業承継したい事業所と創業したい方がマッチングする支援制度はあるのか。事業承継をしたい方の情報は県外に発信されるか（UI ターンをしたい方などへの周知）
事務局	事業承継については、家族内承継だけではなく、社員であったり、M&Aを含めたものである。市として行っているものは個別相談会をやっているが、具体的な承継についての支援になると、島根県の事業承継引継ぎ支援センターに情報共有を行い、そちらがマッチングを含めて支援をしてもらっている状況である。県外への周知等については、確認して後日回答させていただく。 (回答) 公的機関はそのような情報公開は行っていない。事業承継引継ぎ支援センターは47都道府県にあるので、その中での情報共有はしている。また、民間では(株)ライトライトが事業承継プラットフォームを運営しており、事業を引き継ぎたい事業主の記事を記載している。
委 員	事業承継について、島根県の引継ぎ支援センターにおいてマッチングが行われ、(日本政策金融)公庫でも同様に事業承継マッチングの登録の呼びかけがあるようだ。そのあたりとの連携はあるのか。
事務局	事業承継に関しては、市内金融機関や商工団体や関係機関との協議会を作っていて、その中でさまざまな取り組みや状況について、順次情報共有を行っている。その中でよく話がでるのが、事業承継について本人が本気でそういったことを考えないと話があがってこないのが、実態が把握しづらい。また、事業承継するのにお金の問題があったりとかさまざまな課題があるが、そのことを認識していない方が多く、情報がつかみにくいのが課題である。現在、税理士に依頼し、顧客企業の了解を得られたものについて事業承継に関する情報を提供いただき、島根県事業承継引継ぎ支援センターと情報共有している。この様に地道に取り組んでいくしかない問題である。
委 員	商店街等賑わい創出支援事業について、他の地域の補助金はないか。
事務局	イベントのもつ意味合いによって担当課が予算をもっている。商工振興課については、商工や産業振興という意味合いでのイベントというところに予算がついている。

《その他事項（モデル事業について）》

- 事務局 以前の会議のところで壺倉委員からモデル事業をやってはどうかという意見をいただいたが、第1期のところで9つの事業を実施し、前回の会議で報告をさせていただいた。まずはこの9つの事業について成果を広く周知を行い、横展開を行うことが第一と考えている。今後、横展開に取り組んでいきたいが、効果等を検証しながら第3期の計画にむかってどうあるべきかをみなさんと話をさせていただきたい。
- 委 員 次回の会議で、どういう横展開をするのかということを次回の会議で報告をされるのか。
- 事務局 事業をされてそこで終わってしまっているという状況がある。終わった事業もあるが9つの取組みをまずは広く周知を図るところからスタートして、それを見た企業の方が取り入れたり、広がりをもっていけるような形にできればいいと思っている。まずは9つの事業についての取組みについて、市内の企業の方に周知を図っていききたい。
- 委 員 周知の方法はどうするのか。
- 事務局 具体的に決まった方法はないが、できるだけ早急に考えていきたい。
- 委 員 それでは以上で、本日予定されていた議事は終了します。事務局にお返しします。
- 事務局 最後に第3回の振興会議の日程だが、2月ごろに開催する予定としている。また時期が近づいたら正式にご案内をさせていただく。
- 以上をもって、令和7年度 第2回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議を閉会する。